

補足情報

液晶ディスプレイ - 24.1 ワイド
(VL-244SSW/VL-244SSW3)

目次

はじめに	3
1 本製品の特長	5
2 各部の名称と機能	7
3 ディスプレイドライバー（INF ファイル）のインストール	11
初めて電源を入れるとき	11
最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする	11
4 液晶ディスプレイのセットアップ	12
AUTO セットアップアクション機能	12
エコ機能	13
画質を選ぶ	15
細かい設定を行う	16
調整項目の内容	17
画質モードと調整項目の組み合わせ	21
入力切り換えについて	22
5 省電力機能	23
6 PC-ディスプレイ電源連動機能	24
7 トラブルシューティング	25
画面がおかしい	25
画面が調節できない	28
音が聞こえない／変な音が聞こえる	29
8 日常のお手入れ	30
清掃する	30
9 リサイクル	31
10 付録	32
アームまたは壁掛けキットの取り付け方法	32
複数台のコンピューターを接続する	34
11 仕様	35
本体仕様	35
標準表示仕様	36
コネクタ仕様	37
外形図	39

はじめに

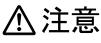
このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

■マニュアルについて

- ・ディスプレイの設置、接続までは『取扱説明書』をご覧ください。
『取扱説明書』の「使用上のご注意」も必ずお読みください。
- ・画質の設定などの技術情報は、このマニュアルをご覧ください。

■警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	ⓧで示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。 必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
VL-244SSW/VL-244SSW3	本製品

■ PC リサイクルマークについて (VL-244SSW3 の場合)

本製品の装置銘板には、PC リサイクルマークが付けられています。PC リサイクルマークが付いた弊社の製品は、弊社専用受付窓口にて無償で回収・再資源化いたします。廃棄・リサイクルについては、パソコン本体に添付されている『取扱説明書』をご覧ください。

■ 商標および著作権について

VESA は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2013

1 本製品の特長

1 PC-ディスプレイ電源連動機能

- ・添付のPS/2ケーブルを接続することにより、ディスプレイの電源ボタンを押すことで、コンピューター本体の電源をオン／オフすることができます。
- ・コンピューター本体を床上など離れた場所に置いていても、机上のディスプレイの電源ボタンを押すだけでコンピューター本体の電源がオン／オフするので、楽な体勢で電源を入れることができます。机上をより広く使え、快適なオフィスワークを実現できます。
- ・コールセンター業務に適しているディスプレイアームまたはモニターマウントキット使用時のように、ディスプレイの背面にコンピューター本体が設置されていても、ディスプレイの電源ボタンを押すことで、コンピューター本体の電源をオン／オフすることができます。

2 大画面・高解像度・省スペース

- ・事務処理のみならず、CADユース、小人数のプレゼンテーションなどマルチに使える24.1型ワイドの大画面です。
- ・1920×1200ドットの解像度で最適に表示されます。
- ・スタイリッシュな狭額縁デザインを採用し、また奥行きも少ないため、ワークスペースを広く使えます。

3 節電機能（LEDエコモード）

LEDエコモードを「オン」にすることで、電力を約40%削減できます。

4 スピーカー内蔵

ステレオスピーカーを内蔵し、立体感のあるサウンドでマルチメディア環境を実現します。

5 sRGB対応

ディスプレイとプリンター／スキャナー／デジタルカメラなどの機器との色再現性を合わせる国際規格である、sRGBでの表示が可能です。

POINT

▶sRGBとは、ディスプレイ／スキャナー／デジタルカメラなど周辺機器どうしの色再現性や、プリンターで出力するときの色を合わせることを目的にした、色の表現範囲を規定するための国際規格です。

sRGBの設定については「細かい設定を行う」(→P.16)をご覧ください。

6 親切な自動調整機能（アナログ入力のみ）

初めて入力された解像度（モード）でも、本製品が検知して自動的に調整しますので、解像度（モード）を変更しても、すぐに最適な画面でご使用になれます。

7 多彩な設置方法

本製品は VESA の FDMI 規格に対応しています。FDMI 規格に準拠したアームまたは壁掛けキットに取り付けることができます。

POINT

- ▶ 「VESA FDMI」とは「VESA Flat Display Mounting Interface」の略で、液晶ディスプレイをアームまたは壁掛けキットに取り付けるインターフェースです。
インターフェースとしては 75mm × 75mm と 100mm × 100mm の 2 種類あります。
本製品は、100mm × 100mm に対応しています。

8 グリーン製品

省エネルギー、リサイクルしやすい材料の採用など、環境にやさしい設計です。

このマークは富士通株式会社のグリーン製品の評価基準に適合した製品に表示しています。



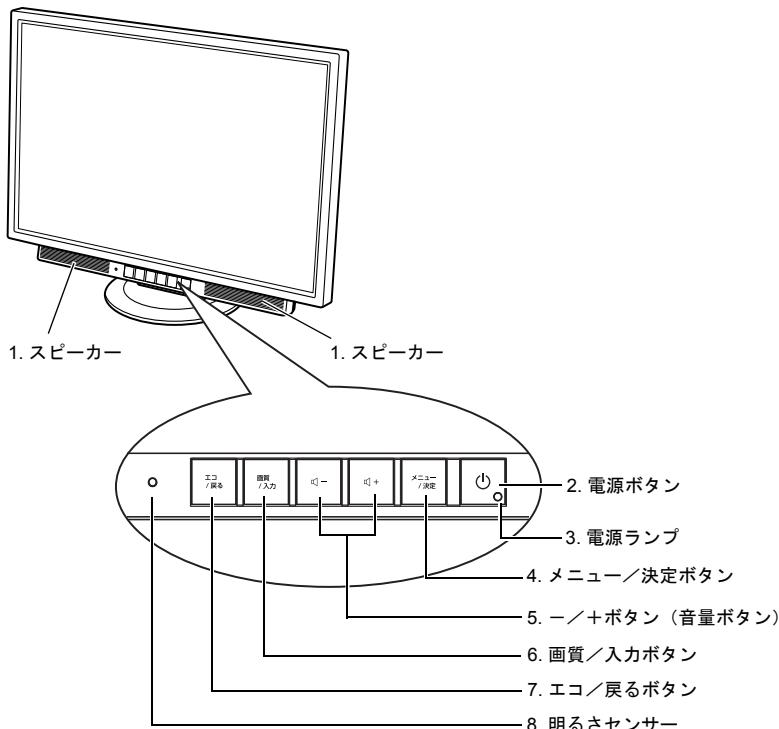
Green
Policy
Innovation

9 2 系統入力対応

アナログとデジタルの 2 系統の入力が可能です。

2 各部の名称と機能

■ 前面



1 スピーカー

音声を出力します。

2 電源ボタン (↓)

本製品の電源オン／オフを切り替えます。

3 電源ランプ

本製品の電力状態を表します。

「省電力機能」(→ P.23)

4 メニュー／決定ボタン

メニュー画面を表示、調整項目を決定、調整値を保存するときに使用します。

「細かい設定を行う」(→ P.16)

5 ノーマルボタン（音量ボタン）(□)

メニュー画面で調整項目を選択したり、設定値を調整したりするときに使用します。
メニュー画面が表示されていないときは液晶ディスプレイのスピーカー音量を調整できます。

6 画質／入力ボタン

映像の内容に合わせた画質モードを選ぶときに使用します。

「画質を選ぶ」(→ P.15)

また、入力を切り換えるときに使用します。

「入力切り換えについて」(→ P.22)

7 エコ／戻るボタン

「LED エコモード」の「オフ」、「オート」、「インテリジェントオート」、「オン」を切り替えます。

「LED エコモード」(→ P.13)

また、メニュー画面において調整中の値を取り消したり、前のメニューに戻ったりするときに使用します。

8 明るさセンサー

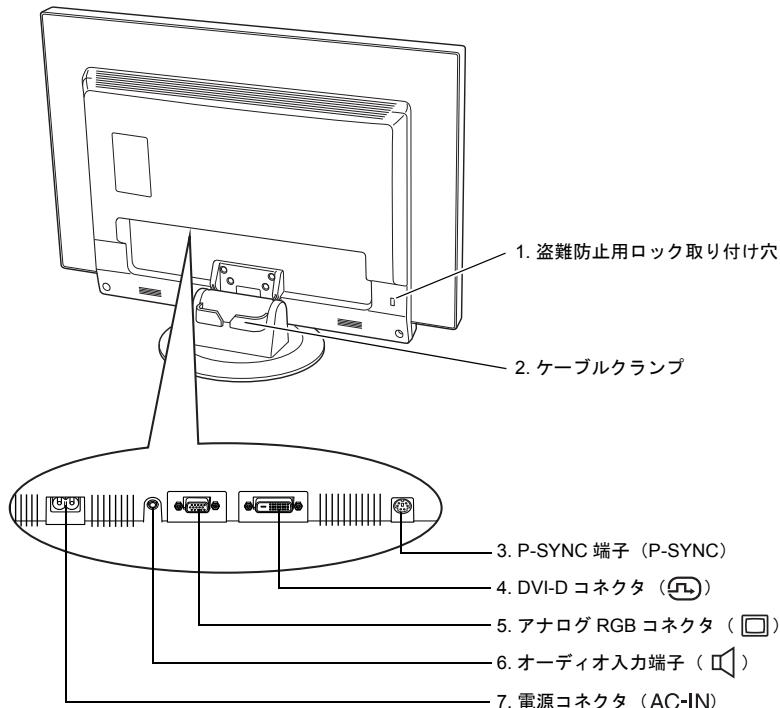
「LED エコモード」を「オート」または「インテリジェントオート」に設定した場合に、周囲の明るさを検知して最適な輝度に調整します。

※重要

▶「LED エコモード」を「オート」または「インテリジェントオート」に設定した場合、ものを置くなどして明るさセンサーを覆い隠してしまうと、周囲の明るさを正しく検知できずに画面が必要以上に暗くなってしまいます。

明るさセンサーの前にはものを置かないでください。

■ 背面



1 盗難防止用ロック取り付け穴

市販の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。

2 ケーブルクランプ

ディスプレイに接続したケーブルを通します。

3 P-SYNC 端子 (P-SYNC)

PC-ディスプレイ電源連動機能を使用する場合に使用します。

コンピューター本体およびキーボードを添付の PS/2 ケーブルで接続します。

4 DVI-D コネクタ (HDCP 対応) (DVI-D connector) (HDCP compatible)

コンピューター本体と添付の DVI 信号ケーブルで接続します。

POINT

▶ HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DVI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。

HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本製品は、HDCP 技術を用いてコピー保護されているデジタルコンテンツを表示することができます。

5 アナログ RGB コネクタ (□)

コンピューター本体と添付のアナログ信号ケーブルで接続します。

6 オーディオ入力端子 (□)

コンピューター本体と添付のオーディオケーブルで接続します。

7 電源コネクタ (AC-IN)

添付の電源ケーブルを接続します。

3 ディスプレイドライバー（INF ファイル）のインストール

初めて電源を入れるとき

コンピューター本体に接続後、最初の電源投入時に、本製品のドライバー（INF ファイル）のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一度「プラグアンドプレイモニタ」として設定を完了させ、その後ドライバーのダウンロード／インストールを行ってください。

POINT

- ▶ お使いの OS の INF ファイルがない場合は、そのまま「プラグアンドプレイモニタ」としてご使用ください。

最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする

最新のドライバー（INF ファイル）は、富士通製品情報ページ (http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html) よりダウンロードできます。
「ディスプレイ INF ファイル／タッチパネルドライバ」からお使いの型名を検索してダウンロードし、インストールしてください。

4 液晶ディスプレイのセットアップ

AUTO セットアップアクション機能

本製品は、次のとき、最適な表示を得られるように画面位置、水平サイズなどを自動調整します。

- ・初めて液晶ディスプレイを本体に接続したとき
- ・今までに入力されたことのない解像度（モード）が設定されたとき

※ 重要

- ▶ AUTO セットアップアクションは、本製品の対応する解像度（モード）でのみ動作します（→ P.36）。
- ▶ 一度調整された解像度（モード）は、設定値が本製品に記憶されるので、記憶後は AUTO セットアップアクションは動作しません。
- ▶ AUTO セットアップアクションは、画面全体が暗い色に設定されている場合、動作しないことがあります。その場合は、コンピューター本体で画面の背景を白色に設定してから、メニュー画面で「自動調整」（→ P.19）行ってください。
- ▶ DVI信号ケーブルでの接続の場合は、AUTO セットアップアクションおよび自動調整は動作しません。

エコ機能

本製品には、画面の明るさを抑え消費電力を削減する「LED エコモード」機能や、削減された消費電力を表示する機能が搭載されています。

■ LED エコモード

LED エコモードとは、画面の明るさを抑え、消費電力を削減する機能です。

LED エコモードには「オフ」「オート」「インテリジェントオート」「オン」の 4 種類があり、通常時の消費電力を最大で約 40% 削減することができます。

エコ／戻るボタンを 1 回押すと、現在の LED エコモードの状態が表示されます。続けて押すと、次のようにモードが切り換わります。



モード名	機能	省電力効果
オフ	メニュー画面の「明るさ」で調整した明るさそのまま画面を表示します。	—
オート	明るさセンサーで周囲の明るさを検知し、周囲にあわせて画面の明るさを下げることにより消費電力を削減します。	★ (低)
インテリジェントオート	明るさセンサーに加え、画面内で白く表示されている面積に応じて画面の明るさを下げ、消費電力を低減します。 <small>注</small>	★★ (中)
オン	画面の明るさを、事前に暗めに設定した明るさに下げます。消費電力が最も少なくなります。	★★★ (高)

注：画質が「動画」の場合は「オート」と同じ機能になります。

☞ 重要

- ご購入時、LED エコモードは「オフ」に設定されています。
- LED エコモードが「オン」の状態で、「明るさ」を 25 よりも大きな値に調整した場合、LED エコモードは「オフ」に設定されます。「明るさ」メニュー画面で「エコ」の表示が消えます。
- 「明るさ」を 25 以下に調整した場合、LED エコモードは「オン」に設定されます。なお、調整した「明るさ」の値は記憶され、次回から LED エコモードの「オン」の設定値になります。「明るさ」メニュー画面に「エコ」が表示されます。

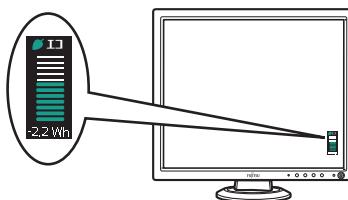
- ▶ 明るさセンサー（→ P.8）の前にはものを置かないでください。
LED エコモードを「オート」「インテリジェントオート」に設定した場合、ものを置くなどして明るさセンサーを覆い隠してしまうと、周囲の明るさを正しく検知できずに画面が必要以上に暗くなってしまいます。

■ エコゲージ

現在の電力削減量をリアルタイムに数字とバーで表示します。

電源投入時や節電状態からの復帰時、入力信号および電力削減量が変化したときに一定時間表示され、自動的に消えます。

エコゲージは、メニュー／決定ボタン（→ P.7）でメニューを表示し、「エコ設定」－「エコゲージ表示」（→ P.20）で表示、非表示を切り換えることができます。



POINT

- ▶ エコゲージで表示している数値およびバーは、LED エコモードやエコブートを使わずに明るさを最大にして使用している状態と比較した場合の値であり、電力削減量の目安を示すものです。

■ エコブート

エコブートとは、OS の起動時など、入力信号が本製品の推奨解像度より小さい解像度（1024 × 768 など）の場合に、輝度を落として電力を削減する機能です。

エコブート機能はメニュー／決定ボタン（→ P.7）でメニューを表示し、「エコ設定」－「エコブート」（→ P.20）でオン、オフを切り換えることができます。

重要

- ▶ 解像度が 1600 × 1200 または 1280 × 1024 の場合、エコブートは動作しません。

■ 累積電力削減量表示

ご使用開始からの電力削減量を表示することができます。

累積電力削減量（kWh）とその累積電力削減量を CO₂ 換算した値（kg）の 2 種類を表示します。累積電力削減量とは LED エコモードやエコブートを使わずに、明るさを最大にして使用している状態と比較した場合の値であり、電力削減量の目安を示すものです。

メニュー／決定ボタン（→ P.7）でメニューを表示し、「エコ設定」－「累積電力削減量表示」（→ P.20）で表示できます。

「累積電力削減量表示」で表示している累積電力削減量と累積 CO₂ 削減量は、「エコ設定」－「累積電力削減量リセット」（→ P.20）でリセットできます。

POINT

「累積電力削減量」には、本製品が省電力状態に入っている間に削減された電力量は含まれておりません。

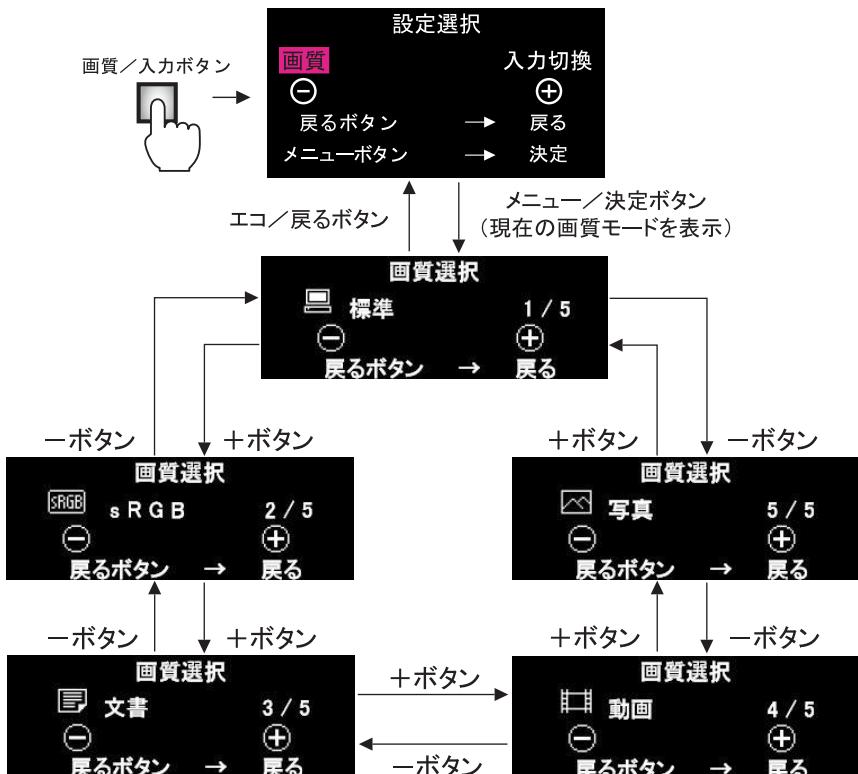
画質を選ぶ

画質／入力ボタンを押すと、サブメニューから映像の内容に合わせた画質モードを選ぶことができます。

■ 重要

- ▶ 動画モードは、画面内の画像の変化（動画）を検出して全画面の階調表現を自動で調整します。そのため画像が変化していない部分も影響を受けるため、階調や色が変わって見えます。動画モードでは、動画を全画面表示して使用することをお勧めします。

画質／入力ボタンを押すと、「設定選択」画面が表示されます。「設定選択」画面で「画質」を選ぶと、「画質選択」画面が表示されます。続けてー／+ボタンを押すと、次のように選択が変わります。



モード名称	モードの用途など
標準	標準的な設定のモードです。
sRGB	コンピューターの機種など機器の違いによらず、意図したとおりの色を再現するための国際規格「sRGB」に設定します。「コントラスト」、「ガンマ」、「カラー設定」、「黒レベル調整」は、調整できません。
文書	メールや文書の作成など、背景に白が多い表示のときに最適なモードです。明るさが抑えられ、文字が見やすくなります。
動画	DVDなどの動画コンテンツの表示に最適なモードです。シーンにあわせて見やすい階調表現に自動的に調整し、コントラスト感とダイナミック感を表現します。
写真	デジタルカメラの画像やWeb閲覧などのグラフィック表示を鮮やかに見せるモードです。鮮明に色を表現します。

△重要

- ▶ メニュー画面などが表示されている場合、画質／入力ボタンは無効です。メニュー画面などの表示が消えた後に、画質／入力ボタンを押してください。
メニュー画面については、「細かい設定を行う」(→ P.16) を参照してください。
- ▶ 細かい画質の調整は、画質選択で標準モードを選択後、メニューボタンでメニューを表示させて調整を行ってください。
画質の調整項目については、「調整項目の内容」(→ P.17) を参照してください。

細かい設定を行う

本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。設定には、メニュー／決定ボタン、－／+ボタン、画質／入力ボタン、エコ／戻るボタン、を使用します。

■ メニュー画面の基本的な操作

□ ボタンの基本機能

- メニュー／決定ボタン
- ・メニュー画面の表示
 - ・調整項目の決定
 - ・設定値の保存
 - ・ボタンロックの解除（3秒以上長押し）

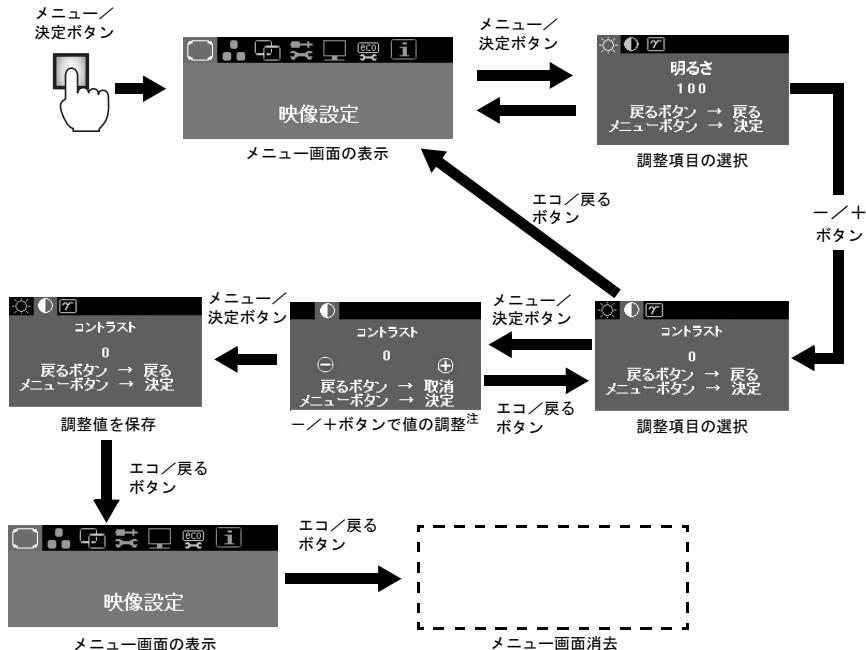
- －／+ボタン
- メニュー画面が表示されている場合
- ・調整項目の選択
 - ・設定値の調整
- メニュー画面が表示されていない場合
- ・音量の調整

- 画質／入力ボタン
- ・「設定選択」画面の表示

- エコ／戻るボタン
- メニュー画面が表示されている場合
- ・メニュー画面の消去
 - ・調整項目の取り消し
 - ・設定値の取り消し
- メニュー画面が表示されていない場合
- ・LEDエコモードの切り替え

□ 操作方法

例：コントラストを調整する場合



注：設定値を保存する場合は、メニュー／決定ボタンを押してください。エコ／戻るボタンでメニュー画面に戻る場合は、設定値は保存されません。

10秒以上ボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示が自動的に消えます。次に電源を入れたときにも、保存された内容で画面が表示されます。

※ 重要

▶ 解像度を変更しても、保存された設定内容で画面が表示されます。

調整項目の内容

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	映像設定	映像に関する設定を行います。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	明るさ	画面全体の明るさを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	コントラスト	画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	ガンマ	入力された画面をどのような明るさで表示するか調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	カラー設定	色に関する設定を行います。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	色温度	色温度を調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	ネイティブ	液晶パネルがもっている色温度で表示します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	5000K	5000K の色温度で画面を表示します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	6500K	6500K の色温度で画面を表示します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	7500K	7500K の色温度で画面を表示します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	8200K	8200K の色温度で画面を表示します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	9300K	9300K の色温度で画面を表示します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	10000K	10000K の色温度で画面を表示します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	ユーザー調整	画面全体の色のバランスを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	赤レベル調整	赤色の明るさ調整をします。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	緑レベル調整	緑色の明るさ調整をします。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	青レベル調整	青色の明るさ調整をします。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	黒レベル調整	画面の黒い部分を調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	色あい	色あいを調整します。肌色などを任意の色あいにします。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	色のこさ	色の濃さを調整します。色を鮮やかにできます。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	6色調整	画面の部分的な色を調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	赤色のこさ	赤色の濃さを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	黄色のこさ	黄色の濃さを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	緑色のこさ	緑色の濃さを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	シアンのこさ	シアンの濃さを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	青色のこさ	青色の濃さを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	マゼンタのこさ	マゼンタの濃さを調整します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	画面設定	表示画面の設定をします。	<input type="radio"/>	×
	水平位置調整	表示画面の水平位置を左右に調整します(アナログ信号入力時のみ)。	<input type="radio"/>	×
	垂直位置調整	表示画面の垂直位置を上下に調整します(アナログ信号入力時のみ)。	<input type="radio"/>	×
	水平サイズ調整	帯状(縦)のノイズが発生する場合に調整します(アナログ信号入力時のみ)。	<input type="radio"/>	×
	フォーカス調整	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します(アナログ信号入力時のみ)。	<input type="radio"/>	×
	自動調整	アナログ信号入力時に画面位置、水平サイズ、フォーカスを自動で調整します。実施する場合は画面全体を白っぽい表示にしてから実行してください。 →「AUTOセットアップアクション機能」 (→P.12)	<input type="radio"/>	×
	基本設定	ディスプレイの基本的な設定をします。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	ワイド画面切換	画面の表示の拡大方法を切り替えます。1920×1200、1680×1050、1440×900、1280×800、720×400および標準表示仕様以外の解像度(モード)の画面を表示している場合、本メニューは選択できません。 ノーマル：画面の縦横比を保って拡大表示します。画面の内側に映像が表示され、画面の端は黒い帯になります。 ワイド：画面全体に拡大します。 リアル：入力信号の解像度のまま、拡大せず、画面中央に縦横比1:1で表示します。画面の端は黒い帯となります。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	DDC/CI ^{注1}	ディスプレイの明るさやコントラストの調整をコンピュータ一本体で行うことのできる国際規格DDC/CIの機能をオン／オフします。 画質モードが「標準モード」または「sRGBモード」でのみ調整できます。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	ミュート	オンにすると、一時的に本製品のスピーカー出力を停止します。ミュートがオンのときに音量ボタンで音量を調整すると、ミュートは解除されます。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	モニター設定	ディスプレイの設定を行います。	○	○
	リセット ^{注2}	オール：次の項目を除いたすべての項目を、ご購入時の設定に戻します。 ・入力切換 ・現在選択されていない入力の「画面設定」(→P.19) の全項目 ・現在選択されていない入力の「ワイド画面切換」(→P.19) カラー：色に関する設定のみを、ご購入時の設定に戻します。 ^{注3}	○	○
	ボタンロック	エコ／戻るボタン、画質／入力ボタン、音量／－ボタン、音量／＋ボタン、メニュー／決定ボタン、電源ボタンを無効にすることができます。 ボタンロック中にこれらのボタンを操作すると、画面上に「ボタンがロックされています」と表示されます。ロックを解除するには、メニュー／決定ボタンを 3 秒以上、メニュー画面が表示されるまで押し続けてください。	○	○
	ロゴ	起動時のロゴ表示をするかしないかを設定します。	○	○
	エコ設定	エコ機能の設定をします。	○	○
	エコゲージ表示	エコゲージ(→P.14)の表示、非表示を切り替えます。	○	○
	エコブート	エコブート(→P.14)のオン、オフを切り替えます。	○	○
	累積電力削減量表示	累積の電力削減量(kWh)と累積の電力削減量をCO ₂ 換算した値が表示されます。	○	○
	累積電力削減量リセット	累積電力削減量および累積 CO ₂ 削減量の値をクリアし、ゼロにします。	○	○
	情報表示	現在選択されている解像度と周波数、および選択された入力端子が表示されます。またアイコンで画質モード、エコゲージ表示、エコブート、DDC/CI、スピーカーの状態を確認することができます。	○	○

注 1：本製品は、VESA (Video Electronics Standards Association) の DDC/CI (Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。

注 2：リセット（オール／カラー）はどの画質モードで実行しても、すべての画質モードの設定値をご購入時の設定値に戻します。

注 3：「LED エコモード」と「明るさ」はリセット（カラー）の対象外です。

■音量調整

スピーカーの音量はメニュー画面を表示せずに、ー／＋ボタンで直接調整できます。

アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	音量	本製品のスピーカーの音量を調整します。十ボタンを押すと音量が大きくなり、一ボタンを押すと音量が小さくなります。 ミュート設定時に音量を調整すると、ミュートは解除され、スピーカーから音が出る状態になります。	○	○

画質モードと調整項目の組み合わせ

○：選択可 ×：選択不可

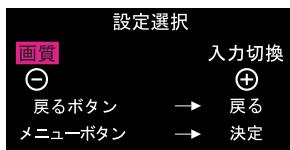
	調整項目	標準	sRGB	文書	動画	写真
映像設定	明るさ	○	○	○	○	○
	コントラスト	○	×	○	○	○
	ガンマ	○	×	○	×	○
カラー設定	色温度	○	×	○	○	○
	黒レベル	○	×	○	○	○
	色あい	×	×	×	○	○
	色のこさ	×	×	×	○	○
	6色調整	×	×	×	×	○
基本設定	DDC/CI	○	○	×	×	×
モニター設定	リセット	○	○	○	○	○

入力切り換えについて

本製品には2つの入力コネクタ（アナログRGBコネクタ：□「アナログ入力」、およびDVI-Dコネクタ：■「デジタル入力」）があります。

初めてご使用になる場合は、入力を自動で検出して表示を出しますが、それ以降は次の手順で入力を切り換えてください。「操作方法」（→P.17）

1 画質／入力ボタンを押して、「設定選択」画面を表示します。



2 -／+ボタンで「入力切換」を選択し、メニュー／決定ボタンを押します。

現在選択されている入力が「アナログ入力」の場合は「DVI-Dに切り替えますか?」、「デジタル入力」の場合は「D-SUBに切り替えますか?」とメッセージが画面に表示されます。

3 メニュー／決定ボタンを押します。

※重要

- 切り換えた入力コネクタへの入力がないと、「節電に入ります」と画面に表示され、本製品は省電力状態になります。このときは、入力を選び直してください。

5 省電力機能

本製品はコンピューターの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画像の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。

本製品は、コンピューター本体の制御に応じて、次の表に示すいずれかの状態に移行します。移行時には画面に「節電に入ります」というメッセージが表示されます。省電力機能については、コンピューター本体のマニュアルをご覧ください。

コンピューター 本体の状態	本製品の動作					本製品の 消費電力
	画面表示	本製品の 電源供給元	電源 ボタン	電源 ランプ	LED エコモード	
通常状態	表示あり	コンセント、 またはコンピューター本 体のアウト レット	オン	緑	オフ	最大時:37W / 66VA(オーディ オ動作時) 出荷時 ^{注1} :27W (出荷輝度設定 時)
					オン	LED エコモー ドオン時:20W
映像出力オフ ^{注2}	表示なし	コンセント、 またはコンピューター本 体のアウト レット	オン	オレンジ	オフ	省電力動作時: 0.3W
スリープ状態、 休止状態または シャットダウン	表示なし	コンセント	オン	オレンジ	オン/オフ	省電力動作時: 0.3W
スリープ状態、 休止状態または シャットダウン	表示なし	コンピュー ター本体のア ウトレット	オン	消灯	オン/オフ	0W
—	表示なし	コンセント	オフ	消灯	—	0.2W ^{注3}

注 1: ご購入時の状態で、明るさを特に調整しないでかつスピーカーを使用しない状態での消費電力です。

注 2: 次のように、コンピューターの電源がオフで画面表示を停止した状態です。

- ・ 電源設定にて、「ディスプレイの電源を切る」の設定時間を経過している
- ・ リモートで省電力状態から復帰（レジューム）した状態になっている
- ・ 「ディスプレイの電源を切る」というソフトウェアが実行されている
など

注 3: 電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことにより 0 にすること
ができます。

6 PC-ディスプレイ電源連動機能

本製品は添付のPS/2ケーブルでコンピューター本体と接続することにより、PC-ディスプレイ電源連動機能を使用することができます。

PC-ディスプレイ電源連動機能とは、ディスプレイの電源ボタンを押すことで、コンピューター本体の電源をオン／オフすることができる機能です。コンピューター本体の電源ボタンの操作をディスプレイの電源ボタンで行うことができるため、コンピューター本体が離れた場所に設置されている場合などに便利です。

PC-ディスプレイ電源連動機能の使用時、本製品の電源ランプは白色またはオレンジ色に点灯します（PC-ディスプレイ電源連動機能の未使用時は緑色またはオレンジ色）。

コンピューター本体の電源ボタンを押したときの動作がシャットダウン^{注3}の場合、ディスプレイの電源ボタンを押すと、次の表に示す状態に移行します。

なお、ケーブルの接続については『取扱説明書』をご覧ください。

◆重要

接続するコンピューターが2台の場合は、PC-ディスプレイ電源連動機能の動作は保証できません。PS/2ケーブルは接続せずに保管してください。

コンピューター 本体の状態	ディスプレイの状態		ディスプレイの電源ボタン を押した場合の動作
	画面表示	電源ランプ	
電源オン (通常状態) ^{注1}	表示あり	白	シャットダウンに移行 ^{注3}
映像出力オフ ^{注2}	表示なし	オレンジ	電源オン(通常状態)に移行
スリープ状態、 休止状態または シャットダウン	表示なし	消灯	電源オン(通常状態)に移行

注1：コンピューターの電源がオンで、画面が表示されている状態です。画面が表示されない「模様なし」のスクリーンセーバー状態を含みます。

注2：次のように、コンピューターの電源がオンで画面表示を停止した状態です。

- ・電源設定にて、「ディスプレイの電源を切る」の設定時間を経過している
- ・リモートで省電力状態から復帰（レジューム）した状態になっている
- ・「ディスプレイの電源を切る」というソフトウェアが実行されているなど

注3：OSにより電源を切る方法は異なりますので、コンピューター本体のマニュアルもご覧ください。また、電源ボタンを押したときの動作は、コンピューター本体の設定内容（電源オプション内の「電源ボタンを押したときの動作」）に依存します。

7 トラブルシューティング

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先にご相談ください。お問い合わせ先については、『取扱説明書』をご覧ください。

画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が明るすぎる。	明るさの設定値が大きすぎる。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「調整項目の内容」 （→ P.17）
画面が暗くなつた。	LEDエコモードが「オート」「インテリジェントオート」または「オン」になっている。 明るさセンサーが何かに覆われている。 明るさの設定値が小さすぎる。 表示解像度が本製品の推奨解像度（→ P.36）よりも小さい解像度（1024 × 768など）で使用されており、エコブートが動作している。 液晶パネル内部のバックライトが、長期使用で暗くなつていている。	エコ／戻るボタンを押して、LED エコモードを「オフ」に設定してください。 明るさセンサーを覆っているものを取り除いてください。 メニュー画面より明るさを調整してください。 エコブートをオフにしてください。	「LED エコモード」（→ P.13） 「各部の名称と機能」（→ P.7） 「調整項目の内容」 （→ P.17） 「エコブート」（→ P.14） 『取扱説明書』
推奨解像度より小さい解像度を設定していくても、エコブート機能が働かない。	コンピューターによっては、推奨解像度より小さい解像度を設定した場合、推奨解像度に拡大して出力される場合があります。	メニュー画面の「情報表示」で、解像度を確認してください。推奨解像度になっている場合、エコブート機能はお使いになれます。	「エコブート」（→ P.14） 「調整項目の内容」 （→ P.17） 「標準表示仕様」 （→ P.36）
画面いっぱいに表示されない。	ワイド画面切換が「ノーマル」になっている。 画面位置の調整が適切でない（アナログ接続時のみ）。	ワイド画面切換を「ワイド」に設定してください。 水平サイズの調整を行つた後に画面位置の調整を行つください。	「調整項目の内容」 （→ P.17） 「調整項目の内容」 （→ P.17）

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
BIOS 画面が表示されない、または BIOS 画面の表示時間が短い。	ロゴ表示が BIOS 画面と重なっている。	ロゴ表示を「OFF」に設定してください。	「ロゴ」(→ P.20)
色の階調が強調され、グラデーションがなめらかに表示されない。	LEDエコモードが「インテリジェントオート」、または画質モードが「写真、動画モード」に設定されている。	モードの設定を別のモードに変更してご使用ください。	「画質を選ぶ」(→ P.15) 「LED エコモード」(→ P.13)
画面の縦横比が崩れてしまう。	ワイド画面切換が「ワイド」になっている。	ワイド画面切換を「ノーマル」に設定してください。	「調整項目の内容」(→ P.17)
	コンピューターの設定が標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に設定してください。	「標準表示仕様」(→ P.36) コンピューター本体のマニュアル
	コンピューターの設定が720×400の解像度（モード）になっている。	コンピューター本体の設定を720×400以外の解像度（モード）に変更してください。	コンピューター本体のマニュアル
ワイド画面切換が選択できない。	コンピューターの設定が、ワイド画面切換できない解像度（モード）になっている。	コンピューター本体の設定を、標準表示仕様の解像度（モード）にしてください。ただし、次の解像度（モード）は除きます。 1920×1200、1680×1050、1440×900、1280×800、720×400	「標準表示仕様」(→ P.36) コンピューター本体のマニュアル
格子状の模様が見えないことがある（アナログ接続時のみ）。	フォーカスが合っていない。	フォーカスを調整してください。	「調整項目の内容」(→ P.17)
帯状のしま模様（縦）が見えることがある（アナログ接続時のみ）。	水平サイズの調整が適切でない。	水平サイズの調整をしてから、フォーカスの調整をしてください。	「調整項目の内容」(→ P.17)
画面がはみ出る（アナログ接続時のみ）。	画面位置の調整が適切でない。	水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「調整項目の内容」(→ P.17)
	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.36) コンピューター本体のマニュアル
次のメッセージが表示される。 「サポート外のモードです」	本製品に適切な信号が入力されていない。	コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.36) コンピューター本体のマニュアル

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
文字の太さが場所によって異なる。 画面の内容が大きくぼけて表示される。	1920×1200よりも低い解像度（モード）になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の太さが異なる場合があります。 最適な画面にするには「画面設定」で解像度（モード）を1920×1200に設定してください。	コンピューター本体のマニュアル
	フォーカス、水平サイズの調整が適切でない（アナログ接続時）。	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。	「調整項目の内容」（→ P.17）
動画再生や画面の切り換え時に画面階調が変わる。	画質モードが「動画モード」に設定されている。	他の画質モードに設定するか、動画を全画面でご覧ください。	「画質を選ぶ」（→ P.15）
電源投入直後やコンピューターの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある。	コンピューターからの信号が連続的に切り換わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
点灯したままの点や黒い点が表示される。	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	コンピューター本体のマニュアル
画面を切り換ても前の像が薄く残っている。	長時間同じ静止画像を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	コンピューターの電源を切るか、変化する画像を表示していれば、像は1日程度で自然に消えます。スクリーンセーバーを設定することをお勧めします。	—
表示画面にむらがある（もやもやしている）。	液晶パネルの表面を押した。	本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	「各部の名称と機能」（→ P.7）
画面がちらつく。	一部の階調、表示パターンによってちらつきが発生します。	画質モードを変更して、ちらつきの少ない画質モードを選択してください。	「画質を選ぶ」（→ P.15）
	LED エコモードが「インテリジェントオート」に設定されている。	LED エコモードを別のモードに変更してご使用ください。	「LED エコモード」（→ P.13）

画面が調節できない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面上に次のメッセージが表示される。 「ボタンがロックされています」	ボタンロックが有効になっている。	メニュー／決定ボタンを3秒以上（メニュー画面が表示されるまで）押し続け、ボタンロックを解除してください。	「ボタンロック」 （→P.20）
メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される。 「失敗しました。マニュアルをごらんください」	画面全体が極端に暗い色に設定された状態で自動調整が行われた。	表示画面全体をできるだけ白い画面にして、もう一度自動調整を行ってください。	「AUTOセットアップアクション機能」（→P.12） 「調整項目の内容」 （→P.17）
メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される。 「サポート外のモードです」	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	メニュー画面の情報表示で、現在表示されている解像度（モード）を確認し、コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「調整項目の内容」 （→P.17） 「標準表示仕様」 （→P.36） 「コンピューター本体のマニュアル」
メニュー画面の自動調整が選択できない。	デジタル入力でコンピューターと接続している。	デジタル入力でコンピューターと接続されている場合は、調整が不要なため自動調整はできません。	「調整項目の内容」 （→P.17）

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない。	ミュートがオンになっている。	メニュー画面より、ミュートをオフにしてください。	「調整項目の内容」 （→ P.17）
	音量が小さすぎる。	メニュー画面が表示されていない状態で、スピーカーボタンで音量を調整してください。	「各部の名称と機能」（→ P.7）
	コンピューター本体の音量つまみが最小になっている。	適切な音量に調整してください。	コンピューター本体のマニュアル
	コンピューター本体の音量設定がミュートになっている（画面右下の通知領域に『  』と表示されている）。	キーボードの Mute（消音）ボタンを押すか、画面右下の通知領域の『  』をクリックして音量つまみを表示し、『  』をクリックして『  』にしてください。	コンピューター本体のマニュアル
	モニターが省電力モードになっている。	省電力時には音声出力を止める仕様となっております。	「省電力機能」（→ P.23）
	オーディオケーブルが正しく接続されていない。	オーディオケーブルが本製品とコンピューター本体の適切な場所に接続され、しっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。	『取扱説明書』 - 「コンピューター本体と接続する」「複数台のコンピューターを接続する」（→ P.34）
	スピーカーからブツブツという雑音が聞こえる。	本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーなどを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。 —
電源投入時などに「ブチッ」とノイズ音がする。	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—

8 日常のお手入れ

清掃する

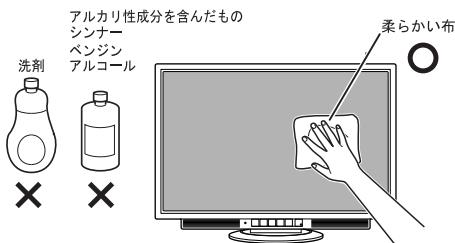
お手入れの前に本製品の電源を切り、本製品の各ケーブルをコンセントまたはコンピューター本体から抜いてください。

◆ 重要

- ▶ 化学ぞうきんや市販クリーナーは、次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、使用しないでください。
 - ・アルカリ性成分を含んだもの
 - ・界面活性剤を含んだもの
 - ・アルコール成分を含んだもの
 - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - ・研磨材を含んだもの
など
- ▶ 本製品を清掃するときには、傷が付くのを防ぐため次の点にご注意ください。
 - ・柔らかい布をご使用ください。
 - ・力を入れすぎないようにしてください。
- ▶ 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

□ 画面

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



□ カバー

水または中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭いてください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸して固く絞った布で、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取るときは、本製品に水が入らないように充分注意してください。



9 リサイクル

■本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

- ・法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>) をご覧ください。

- ・個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、弊社ホームページ「富士通パソコンリサイクル」(<http://azby.fmworld.net/recycle/>) をご覧ください。

10 付録

アームまたは壁掛けキットの取り付け方法

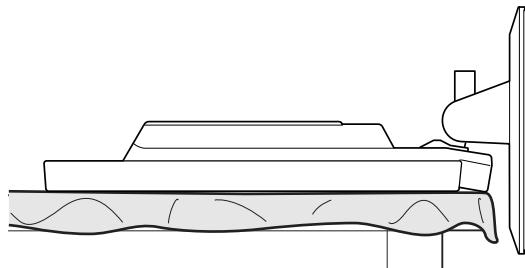
本製品はスタンドを取り外して、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットを取り付けることができます。
ドライバーをご用意ください。

△重要

- ▶ 本製品に取り付けるアームまたは壁掛けキットは、VESA FDMI 規格に適合したものをお選びください。
- ▶ 本製品に取り付けられるアームまたは壁掛けキットは、次の条件を満たしている必要があります。
 - ・取り付け部分のネジ穴の間隔が 100mm × 100mm である
 - ・M4 × 10mm のネジで、取り付けができる
 - ・14kg の重さに耐えられる
- ▶ ネジは、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットに添付されているもの(M4 × 10mm)を必ず使用してください。
- ▶ ネジは最後までしっかりと締めてください。取り付け方が不十分な場合、外れて落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- ▶ アームまたは壁掛けキットを取り付けおよび設置するときは、アームまたは壁掛けキットのマニュアルもご覧ください。

1 すでにケーブルを接続している場合は、いったんすべてのケーブルを取り外します。

2 カバー／液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。

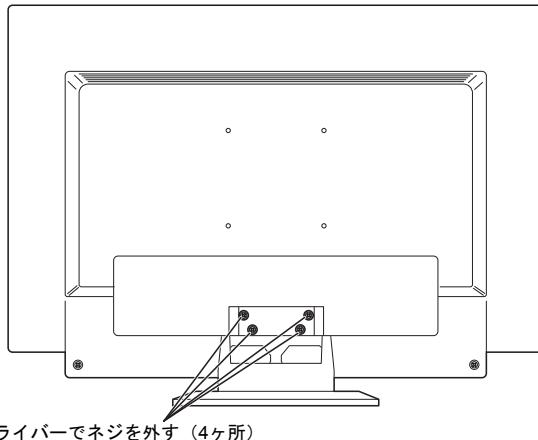


3 スタンドを取り外します。

ネジ（4ヶ所）を外した後、スタンドを取り外します。

△注意

- ・スタンドを必ず手で持って作業してください。スタンドの落下により、破損、けがのおそれがあります。



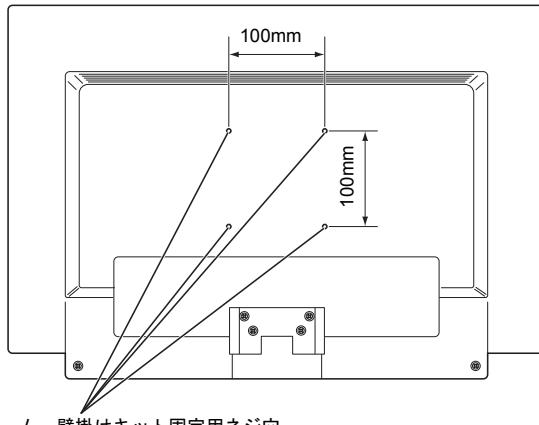
ドライバーでネジを外す（4ヶ所）

POINT

- 取り外したスタンドとネジは、スタンドの使用時に必要ですので、大切に保管してください。

4 本製品をアームや壁掛けキットに取り付けます。

本製品のアーム、壁掛けキット固定用ネジ穴（4ヶ所）に、アームまたは壁掛けキットのネジ穴を合わせ、アームまたは壁掛けキットに添付されているネジ4本（M4×10mm）で取り付けてください。



アーム、壁掛けキット固定用ネジ穴

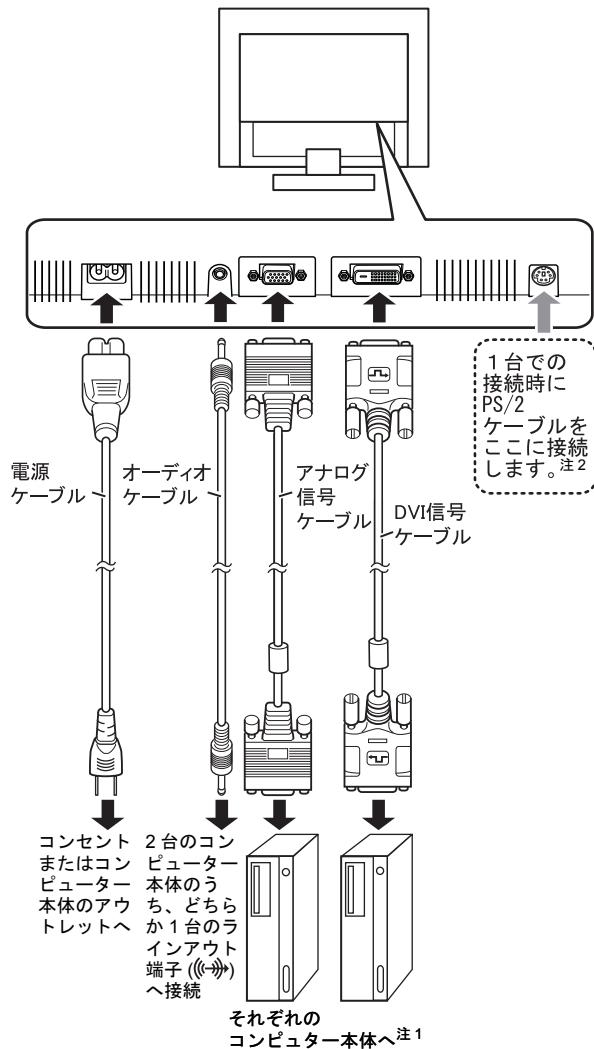
5 アームまたは壁掛けキットを設置した後、ケーブルを接続します。

POINT

- アームまたは壁掛けキットを設置した後で、本製品背面のコネクタにケーブルを接続できない場合は、アームまたは壁掛けキットを設置する前にケーブルを接続してください。

複数台のコンピューターを接続する

複数台のコンピューターを接続するときは、次のように接続してください。



注 1 : DVI 信号ケーブルおよびアナログ信号ケーブルの両方を 1 台のコンピューターに接続しないでください。

注 2 : 接続するコンピューターが 2 台の場合は、PC-ディスプレイ電源連動機能の動作は保証できません。PS/2 ケーブルは接続せずに保管しておいてください。

11 仕様

本体仕様

項目	仕様
入出力 I/F (コネクタ)	アナログ RGB コネクタ (ミニ D-Sub15 ピン) ^{注1} 映像信号 : アナログ (セパレート同期信号/TTL) 0.7Vp-p (正極性)、75Ω インピーダンス
	DVI-D コネクタ (DVI-D) ^{注1} 映像信号 : デジタル (TMDS/HDCP 対応)
	オーディオ入力端子 (φ3.5 ステレオミニジャック)
	DDC
	P-SYNC 端子
表示部	画面サイズ
	24.1 型 (対角 61.1cm)
	表示寸法
	518.4mm (H) × 324.0mm (V)
	液晶パネル
	TFT カラー液晶
	解像度
	1920 × 1200 ドット
	画素ピッチ
機能	0.270mm × 0.270mm
	表示色
	1677 万色
	輝度
	250cd/m ²
電源	コントラスト比
	1000:1
	応答速度
電源	5ms
	視野角
	上下 160° 、左右 160°
	表示モード
	VGA、SVGA、XGA、SXGA、UXGA、WUXGA、 720 × 400、1280 × 800、1440 × 900、1680 × 1050
	プラグ&プレイ

項目		仕様
音声部	最大出力	1W/ch
	スピーカー	ステレオ
	出力音圧レベル（ユニット）	79.5dB/W (1m)
	再生周波数帯域（ユニット）	480Hz ~ 20kHz
外形寸法		558.6mm (W) × 216mm (D) × 422.4mm (H)
質量		約 4.7kg (本体) 約 4.2kg (表示部)
使用環境	温度	5 ~ 35 °C
	湿度	10 ~ 90% (RH) (結露しないこと)

注 1：本製品は、VESA (Video Electronics Standards Association) の DDC/CI (Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。

注 2：コンピューター本体で設定した自動的にディスプレイの電源を切る時間が経過して、スピーカーを使用せず、明るさを特に調整しない状態での使用を想定しています。電源ランプがオレンジ色の状態です。

注 3：電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントまたはコンピューター本体のアウトレットから抜くことにより 0 にすることができます。

標準表示仕様

本製品には、ご購入時に次のような表の解像度（モード）の調整値が登録されています。
(走査方式がインターレースの信号は対応していません。)

○：表示可能 ◎：推奨解像度（モード）

No	解像度（モード）	水平周波数	垂直周波数	表示可能解像度（モード）	
				アナログ	デジタル
1	720 × 400	31.5kHz	70Hz	○	○
2	640 × 480	31.5kHz	60Hz	○	○
3	640 × 480	37.9kHz	72Hz	○	—
4	640 × 480	37.5kHz	75Hz	○	—
5	800 × 600	37.9kHz	60Hz	○	○
6	800 × 600	48.1kHz	72Hz	○	—
7	800 × 600	46.9kHz	75Hz	○	—
8	1024 × 768	48.4kHz	60Hz	○	○
9	1024 × 768	56.5kHz	70Hz	○	—
10	1024 × 768	60.0kHz	75Hz	○	—
11	1280 × 800	49.3kHz	60Hz	○	○
12	1280 × 800	49.7kHz	60Hz	○	○
13	1280 × 1024	64.0kHz	60Hz	○	○
14	1280 × 1024	80.0kHz	75Hz	○	—
15	1440 × 900	55.5kHz	60Hz	○	○
16	1440 × 900	55.9kHz	60Hz	○	○
17	1600 × 1200	75.0kHz	60Hz	○	○
18	1680 × 1050	64.7kHz	60Hz	○	○
19	1680 × 1050	65.3kHz	60Hz	○	○
20	1920 × 1200	74.0kHz	60Hz	◎	◎

◀ 重要

- ▶ 接続するコンピューターの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります。その場合は、メニュー画面より自動調整を行ってください。自動調整で調整しきれない場合は、メニュー画面から手動で調整してください。コンピューター側での微調整は行わないでください。
- ▶ 上表以外の解像度（モード）にコンピューターを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- ▶ 1920 × 1200 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったり、縦横比が異なって画像などにゆがみが発生することがあります。これは、擬似的に拡大表示（全画面表示）しているためであり、故障ではありません。
- ▶ 上表の解像度（モード）であっても、スキャンコンバーターで表示されたNTSC信号については表示品位を保証するものではありません。

コネクタ仕様

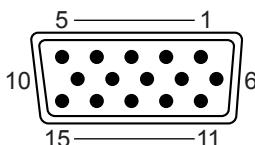
■ アナログ（ミニ D-Sub15 ピン・コネクタ）

端子配列表

No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	R (映像)	(6)	GND	(11)	NC 注
(2)	G (映像)	(7)	GND	(12)	DDC DATA
(3)	B (映像)	(8)	GND	(13)	水平同期
(4)	NC 注	(9)	DDC +5V	(14)	垂直同期
(5)	GND	(10)	GND	(15)	DDC CLOCK

注： NC: 未接続

端子配列図



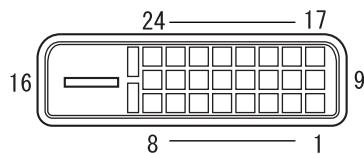
■デジタル（DVI-D コネクタ）

端子配列表

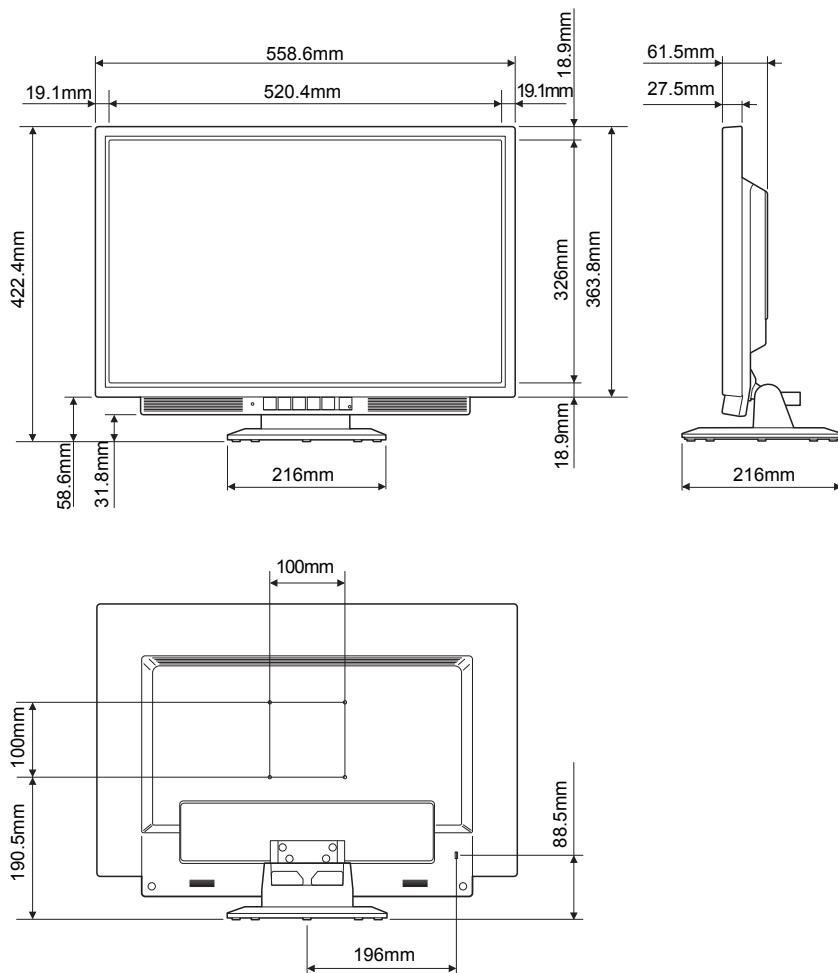
No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	TX2-	(9)	TX1-	(17)	TX0-
(2)	TX2+	(10)	TX1+	(18)	TX0+
(3)	TX2 Shield	(11)	TX1 Shield	(19)	TX0 Shield
(4)	NC <small>注</small>	(12)	NC <small>注</small>	(20)	NC <small>注</small>
(5)	NC <small>注</small>	(13)	NC <small>注</small>	(21)	NC <small>注</small>
(6)	DDC/SCL	(14)	DDC +5V	(22)	TXC Shield
(7)	DDC/SDA	(15)	DDC GND	(23)	TXC+
(8)	A-VS	(16)	HPD	(24)	TXC-

注 NC: 未接続

端子配列図



外形図



**液晶ディスプレイ -24.1 ワイド (VL-244SSW/VL-244SSW3)
補足情報**

B6FY-1991-02 Z0-00

発行日 2013年11月
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。